

# 2024年度

## 森永乳業株式会社

乳製品を使った「減塩レシピ」及び「適塩レシピ」を2030年までに100レシピ開発し、企業ウェブサイト内のレシピサイトのトップに毎月1レシピ以上（年13レシピ）減塩または適塩レシピを掲載する。

若年女性のやせの課題に対し、2030年までに未就学児から社会人までのライフステージに応じた食育冊子を毎年1冊発行し、年間で1,000部以上を配布する。さらに、食育セミナーを小学生から30歳代を対象に年間6回開催する。

### 行動目標1

|               |  |
|---------------|--|
| 取り組む課題        | 食塩（ナトリウム）の過剰摂取   |
| 中長期的な目標       | 乳製品を活用した「減塩レシピ」及び「適塩レシピ」を開発し、2030年までに100レシピとする。<br>企業ウェブサイトに減塩レシピと減塩のコツ情報を掲載する。<br>なお、開発するレシピの食塩相当量の基準は、「減塩レシピ」では、基準とするレシピ（※）から25%以上を減らし、かつ主菜1.5g以下、副菜0.7g以下。「適塩レシピ」では、食塩相当量主菜2.0g、副菜1.0g以下。<br>※女子栄養大学出版部の書籍に掲載のレシピ |
| 行動計画          | 企業HPのレシピサイトのトップに毎月1レシピ以上（年13レシピ）減塩または適塩レシピを掲載する。   |
| 実施期間          | 2024年01月～2030年12月  |
| 評価指標（KPI）     | 開発レシピ数、自社ウェブサイトへのレシピ掲載数  |
| 評価指標の直近の数値    | トップ掲載10レシピ（2023年）  |
| 評価指標のモニタリング手法 | 年に一度、掲載レシピ数を集計   |
| 中長期的な目標       | 日本人の栄養課題の一つである「食塩（ナトリウム）の過剰摂取」に対して、乳製品を活用することで、食塩摂取量をコントロールできることを提案していく。「減塩」および「適塩レシピ」をおいしい健康レシピとして訴求し、健康に貢献することを目標とする。  |
| 行動計画の背景・理由    |  |
| 現状の課題認識       |  |

## 実績報告

|            |  |
|------------|--|
| 実績報告日      | 2025年5月27日   |
| 取組実施期間     | 2024年1月～2024年12月   |
| 実績         | 企業HPのレシピサイトのトップに減塩11レシピ、適塩2レシピを掲載した。<br>1月5日公開 パルメで減塩 豚汁<br>2月2日公開 パルメで減塩！五目炊き込みご飯<br>3月1日公開 パルメで減塩！鮭のみぞ照り焼き<br>4月1日公開 じゃがいもの減塩ミルクそぼろあん<br>4月30日公開 パルメの旨味で減塩！むね肉の薫味ソースがけ<br>6月1日公開 減塩ゴーヤチャンプルー<br>7月1日公開 鶏むね肉とじゃがいものから揚げ～減塩～<br>8月1日公開 パルメで満足！塩分コントロールカレー（適塩レシピ）<br>9月2日公開 なすの減塩ミルクそぼろあん<br>10月1日公開 パルメで減塩 青椒肉絲<br>11月1日公開 パルメで減塩 カルボナーラ<br>12月1日公開 パルメで塩分コントロール ナポリタン（適塩レシピ）<br>12月1日公開 減塩豚ロースカツレツ ヨーグルトソースがけ |
| 実績等の補足説明   | 企業ポータルサイトにもレシピサイトトップを掲載しており、減塩、適塩の啓蒙を行った。また、レシピサイトに減塩、適塩のバナーを掲載。減塩のコツを生活者に伝えている。しかしながら、本レシピの合計View数は3,500と他のレシピと比較して少なく、今後の工夫が必要を感じている。  |
| 今後の計画とその理由 | 継続して、減塩、適塩メニューを掲載するが、若年層に対しても啓蒙できるように、食のトレンドに合せたレシピも考案していきたい。  |

## 行動目標 2

|               |  |
|---------------|--|
| 取り組む課題        | 若年女性のやせ  |
| 中長期的な目標       | 20歳～30歳代の女性に占めるやせの割合は令和1年度で18.1%と先進国の中では高い割合を示しており、健康日本21（第三次）においても、15%への低減目標が示されている（令和14年）。令和2年度学校保健統計調査においても、痩身傾向児の割合は、この10年間でおおむね横ばいもしくは増加傾向と報告されていることから、未就学児から社会人までの段階に応じた食育冊子の作成と、企業活動を通じての普及活動を実施する。 |
| 行動計画          | <ul style="list-style-type: none"><li>・毎年、1冊の食育冊子の発行（改訂版を含む）及び配布（1,000部/年）</li><li>・食育セミナーの実施（6回/年）</li></ul> <p>対象者：小学生から30歳代までの女性<br/>規模：10名から20名</p>  |
| 実施期間          | 2024年01月～2030年12月  |
| 評価指標（KPI）     | 食育冊子発行（改訂を含む）数、食育セミナー実施回数  |
| 評価指標の直近の数値    | 食育冊子1冊を発行（2023年）   |
| 評価指標のモニタリング手法 | 年に一度、実績を集計   |
| 中長期的な目標       | 日本における若年女性のやせは、必要な栄養素の摂取不足の状態となり、現状だけでなく将来の疾病リスクを高める。さらに、妊娠・出産時に、出生する子どもの低体重化（低出生体重児）のリスクも高めると考えられる。実践的な栄養リテラシーの向上により、この課題に取り組む必要がある。  |
| 行動計画の背景・理由    | 若年女性のやせや貧血の実態は、他の先進国と比較しても高く健康課題として対応する必要がある。  |
| 現状の課題認識       |  |

## 実績報告

|            |   |
|------------|---|
| 実績報告日      | 2025年5月27日  |
| 取組実施期間     | 2024年1月～2024年12月  |
| 実績         | 食育冊子発行 1冊（合計2冊）、合計で2650冊配布。 食育セミナー 2回                   |
| 実績等の補足説明   | 冊子、セミナーともに好評であった  |
| 今後の計画とその理由 | 低年齢からの食への意識を高めるために対象世代範囲を広め、年1冊の食育冊子の発行、及び配布（1,000部/年）。 |